

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ウィズ・ユ-高座渋谷		
○保護者評価実施期間	R7年 3月 7日		~ R7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	R7年 3月 10日		~ R7年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節ごとのイベントやプログラムの実施	・季節に合わせたイベント(お花見・夏祭り)等の実施 ・買い物学習で近隣のスーパーや飲食店に行き将来の生活に繋がる支援も行っています。	大人が全て決めてしまうのではなく、子供たちのニーズも取り入れられるよう、職員会議等で話し合います。
2	療育内容・活動内容が同じような内容が続かないよう、日々リーダーの職員が中心に内容を検討し、取り組みに対する児童の反応を見て、職員間で振り返り等を行い、次に生かせるようにしている。	・SNS等を活用し、活動内容の参考にしている。 ・利用している児童の反応を見たり、意見を聞き、療育内容へ行かせるようにしている。	常に見直しを行い、職員で意見を出しあって楽しく安心して過ごすことができるように工夫していく。
3	保護者(家庭)への支援体制	連絡アプリやLINE等で利用した際の様子を写真で報告し、子どもの成長を共有。 定期的に保護者面談。 子どもに変化が見られた時点で保護者と解決策を共有している。	送迎時や必要に応じて、都度電話等で情報交換を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者や兄弟同士の交流の場の提供について不足している。	保護者様の現状から、あまり必要性を感じなかった。	幅広くご意見を伺いながら、今後の課題として検討していきます。
2	職員の人員不足	利用者のニーズが増えて、曜日によっては定員を満たしている。	職員求人依頼で人員を増やす。
3	他事業所との連携	相談支援員との情報共有は行っているが、何か問題が起きた時点以外での情報共有は難しい。	保護者の希望があった場合は行っているが、区の協議会・代表者会議に積極的に参加して情報交換を行っていく